

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 07-160351
 (43)Date of publication of application : 23.06.1995

(51)Int.Cl. G06F 1/00

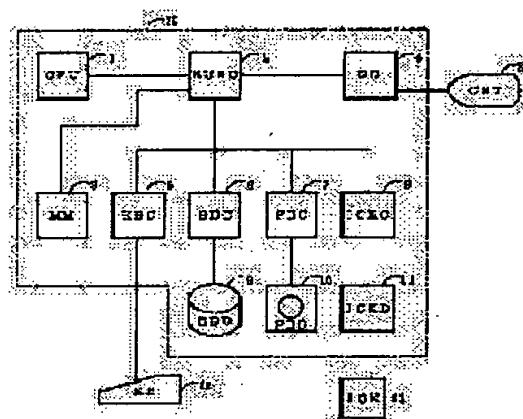
(21)Application number : 05-306257 (71)Applicant : HITACHI LTD
 HITACHI ASAHI ELECTRON:KK
 (22)Date of filing : 07.12.1993 (72)Inventor : MORI TATSUMI
 NITTA JIRO

(54) COMPUTER SYSTEM ENVIRONMENT SETTING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide the system environment setting system which enables respective users to easily structure their system environments by storing environment settings of a computer system which are characteristic to the users by using portable recording media and replacing them.

CONSTITUTION: When the system is started or when a command is issued, a CPU 1 reads data on the system environment setting contents, which are stored on the portable recording media and characteristics by the users, out of an ICK 23 through an ICKC 8. The data read out of the ICKC 8 are stored in an MM 3, and then the CPU 1 sets the system environments characteristic to the users. When the ICK 23 is not set on an ICKD 11, or when no data is stored on the ICK 23, the CPU 1 sets the system environment in a standard state. The need to set environments for respective different computer systems by the respective users through human intervention is eliminated, so the operation of the system is facilitated.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

THIS PAGE BLANK (USPTO)

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-160351

(43)公開日 平成7年(1995)6月23日

(51)Int.Cl.⁶

G 0 6 F 1/00

識別記号 廣内整理番号

3 7 0 B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1 O.L. (全4頁)

(21)出願番号 特願平5-306257

(22)出願日 平成5年(1993)12月7日

(71)出願人 000005108

株式会社日立製作所

東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地

(71)出願人 391002384

株式会社日立旭エレクトロニクス

愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地

(72)発明者 森 立美

神奈川県海老名市下今泉810番地 株式会社日立製作所オフィスシステム事業部内

(72)発明者 新田 治郎

愛知県尾張旭市晴丘町池上1番地 株式会社日立旭エレクトロニクス内

(74)代理人 弁理士 小川 勝男

(54)【発明の名称】 計算機システム環境設定方式

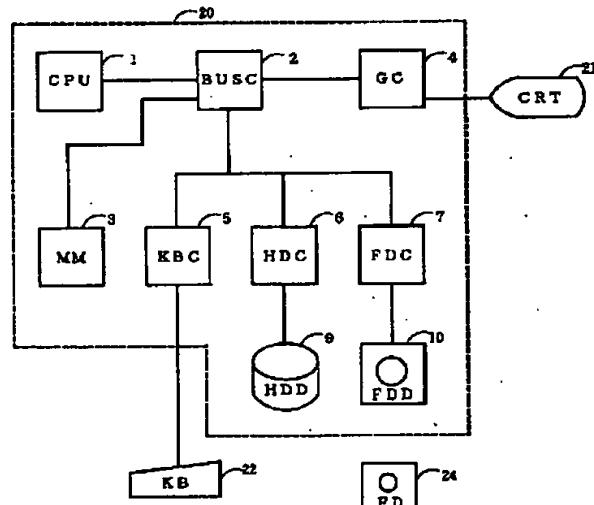
(57)【要約】

【目的】可搬性のある記録媒体を用いて計算機システムにおける各ユーザ固有の環境設定を格納しておき、これを差し替えることにより各ユーザがそれぞれのシステム環境を容易に構築できるシステム環境設定方式を提供する。

【構成】可搬性のある記録媒体に格納された、各ユーザ毎の固有なシステム環境設定内容をシステムたち上げ時、又はコマンド発行時にCPU1がICKC8を介してICK23よりデータを読みだす。ICKC8から読みだされたデータはMM3に格納され、これによりCPU1は各ユーザ毎に固有なシステム環境設定を行なう。ICKD11にICK23がセットされていない場合、又はICK23にデータがない場合には、CPU1は標準状態でシステム環境設定を行なう。

【効果】異なる計算機システムごとに各ユーザが人手入力により環境設定する必要がなくなるのでシステムの選用を容易にすることができます。

図2



【特許請求の範囲】

【請求項1】計算機システムにおける各ユーザ固有の環境設定において、各ユーザ環境設定情報が格納されている可搬性のある記録媒体の読みだしを行なう手段と、読みだしデータより各ユーザ固有の環境設定を行なう手段により、複数の計算機システム上で自動的にユーザ毎に違う環境設定を可能にしたことを特徴とする計算機システム環境設定方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、計算機システムのユーザ環境の設定方式に関するものである。

【0002】

【従来の技術】ユーザ固有の環境設定を、計算機システム毎に人手入力により磁気ディスクなどに格納し、その情報が格納された装置のみで利用可能とする方式が知られている。(特開平4-88531号公報)

【0003】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、可搬性のある記録媒体を用いることにより複数の計算機システムにおいて各ユーザのシステム環境を容易に設定可能にすることを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明は、計算機システムにおける各ユーザ固有の環境設定を、可搬性のある記録媒体に格納し、それを読みだす手段、及び読みだされたデータから環境設定を行なう手段を有する構成としたものである。

【0005】

【作用】計算機システムにおいて各ユーザ固有の環境設定を可搬性のある記録媒体に格納することにより、複数の計算機システムにおいて各ユーザ固有のシステム環境の構築を容易にするものである。

【0006】

【実施例】以下、本発明の実施例について説明する。

【0007】図1は本発明が適用される情報処理装置一例のシステム構成図を示す。

【0008】図2は本発明が適用される情報処理装置一例のシステム構成図を示す。

【0009】図1において、情報処理装置20は、中央処理装置(CPU)1、バスコントローラ(BUSC)2、メインメモリ(MM)3、グラフィックコントローラ(GC)4、キーボードコントローラ(KBC)5、ハードディスクコントローラ(HDC)6、フロッピディスクコントローラ(FDC)7、ICカードコントローラ(ICKC)8、ハードディスクドライブ(HDD)9、フロッピディスクドライブ(FDD)10及びICカードドライブ(ICKD)11からなる。

【0010】CPU1は、BUSC2を介して、MM3、GC4およびデバイスコントローラに接続されてい

る。上記のデバイスコントローラは、KBC5、HDC6及びFDC7で、その内KBC5にはキーボード(KB)22が接続され、HDC6にはHDD9が接続され、FDC7にはFDD10が接続されている。また、GC4には、表示デバイスの一例として、陰極線管(CRT)21が接続されている。

【0011】本実施例は、ICK23に格納された、各ユーザ毎の固有なシステム環境設定内容をシステムたち上げ時、又はコマンド発行時にCPU1がICKC8を介してICK23よりデータを読みだす。ICKC8から読みだされたデータはMM3に格納され、これによりCPU1は各ユーザ毎に固有なシステム環境設定を行なう。ICKD11にICK23がセットされていない場合、又はICK23にデータがない場合には、CPU1は標準状態でシステム環境設定を行なう。

【0012】図2において、情報処理装置20は、中央処理装置(CPU)1、バスコントローラ(BUSC)2、メインメモリ(MM)3、グラフィックコントローラ(GC)4、キーボードコントローラ(KBC)5、ハードディスクコントローラ(HDC)6、フロッピディスクコントローラ(FDC)7、ハードディスクドライブ(HDD)9及びフロッピディスクドライブ(FDD)10からなる。

【0013】CPU1は、BUSC2を介して、MM3、GC4およびデバイスコントローラに接続されている。上記のデバイスコントローラは、KBC5、HDC6及びFDC7で、その内KBC5にはキーボード(KB)22が接続され、HDC6にはHDD9が接続され、FDC7にはFDD10が接続されている。また、GC4には、表示デバイスの一例として、陰極線管(CRT)21が接続されている。

【0014】本実施例は、FDD24に格納された、各ユーザ毎の固有なシステム環境設定内容をシステムたち上げ時、又はコマンド発行時にCPU1がFDC7を介してFDD24よりデータを読みだす。FDC7から読みだされたデータはMM3に格納され、これによりCPU1は各ユーザ毎に固有なシステム環境設定を行なう。FDD10にFDD24がセットされていない場合、又はFDD24にデータがない場合には、CPU1は標準状態でシステム環境設定を行なう。

【0015】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、異なるシステムごとに各ユーザが環境設定する必要がなくなるのでシステムの運用を容易にできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明が適用される一例のシステム構成を示すブロック図である。

【図2】本発明が適用される一例のシステム構成を示すブロック図である。

【符号の説明】

3

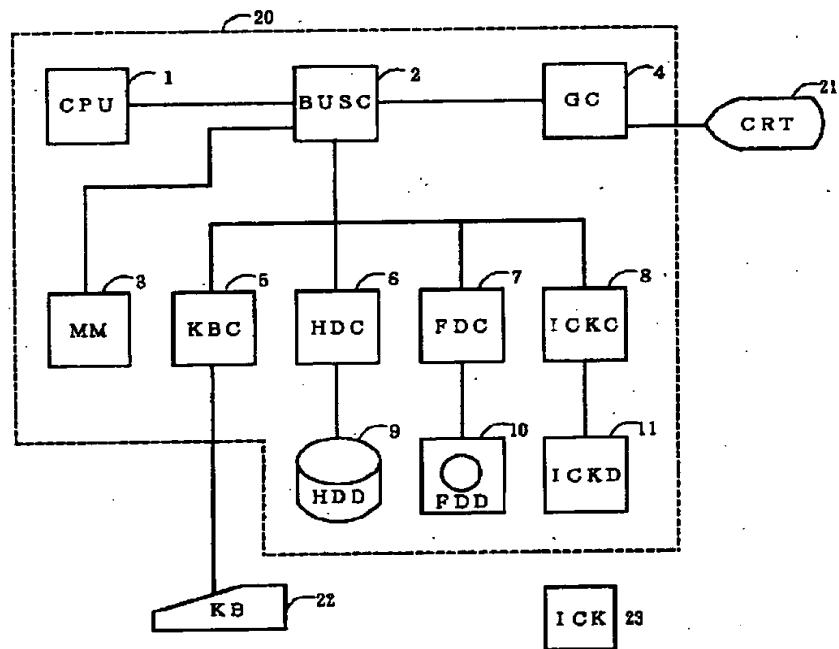
1…中央処理装置 (CPU)、
 2…バスコントローラ (B U S C)、
 3…メインメモリ (MM)、
 4…グラフィックコントローラ (G C)、
 5…キーボードコントローラ (K B C)、
 6…ハードディスクコントローラ (H D C)、
 7…フロッピーディスクコントローラ (F D C)、
 8…I Cカードコントローラ (I C K C)、

4

9…ハードディスクドライブ (H D D)、
 10…フロッピーディスクドライブ (F D D)、
 11…I Cカードドライブ (I C K D)、
 21…陰極線管 (C R T)、
 22…キーボード (K B)、
 23…I Cカード (I C K)、
 24…フロッピーディスク (F D)。

【図1】

図1



【図2】

図2

